

市政の私物化『見過ごせない!』

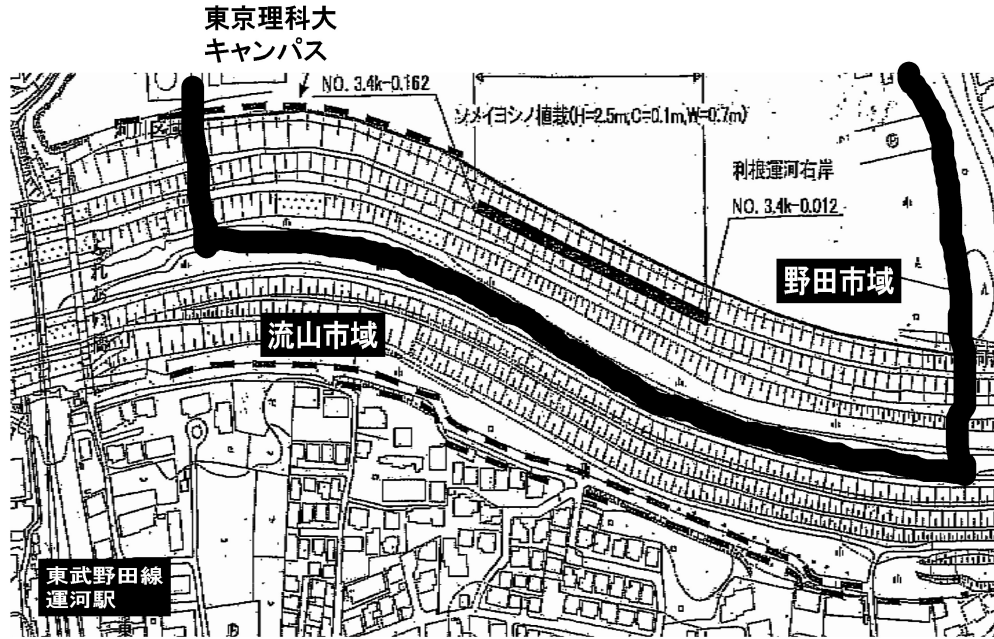


日本共産党市議会議員

小田 桐たかし

樹費も長期の維持管理費も全額、流山市民が負担し、財源は緊急時に積み立てている『財政調整積立基金』から取り崩すになっていたからです。(小田桐たかし市議の討論概要は裏面)

12月9日、補正予算案を審査した市議会総務委員会では「金銭感覚がマヒしているのでは?」「野田市の負担はないのか」という財政部の正しい指摘を取り入れない理由が明確ではない」「市民まつり補助金や、震災後、相馬市との少年スポーツ交流補助金まで削減して積立てた基金を取り崩してもやる事業なのか」など厳しい指摘が相次いでいました。



12月18日(水)流山市議会最終日、補正予算案に対する採決が行われ、総務委員会の審査結果通り、日本共産党小田桐たかし市議が提出した「桜を野田市域に植樹するために、101万9千円を拠出するとしていた項目を全額削除する修正案」を賛成15人、反対11人で、可決されました。流山市議会で、補正予算案が減額修正・可決するのは異例。

市議会が、101万9千円の『桜の植樹』を全額削減した理由は、植樹する場所が野田市域内にもかかわらず、植

異例

101万9千円：積立取崩しに道理なし

補正予算案を修正可決